

部会名：		こども余暇部会			
部会長（氏名・所属先）		なし		副部会長（氏名・所属先）	
構成機関	相談支援従事者		就労支援センター		発達障害者支援センター
	障害福祉サービス事業者	3	医療機関		教育関係機関
	民間企業		高齢者介護の関係機関		当事者・当事者団体・家族
	権利擁護関係団体・者		大学等		公共職業安定所
	保健所・保健センター		保育所		児童相談所
	身体障害者相談員		知的障害者相談員		民生・児童委員
	主任児童委員		地域住民代表		区福祉保健センター
	基幹相談支援センター	1	生活支援センター		地域ケアプラザ
社会福祉協議会	1	その他	1	合計	18
年間目標	余暇を通じて障害児や保護者が地域と繋がるきっかけづくりを図るとともに、地域住民への障害理解の普及啓発と、関係機関のネットワークを構築する。				
月	活動内容				会議開催日時
4月					
5月					
6月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）				6月14日
7月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ夏 2023」 ヨコハマエアキャビンに乗ろう！カップヌードルミュージアムへ行こう！				7月30日
8月					
9月					
10月					
11月					
12月					
1月					
2月	こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会）				2月14日
3月	障がい児余暇活動支援事業「ほっとフレンズ春 2024」 和太鼓を叩こう！玉ねぎ染めをしよう！				3月24日
連携・協働による課題解決の仕組み	部会でできたこと・やったこと ・エアキャビンやカップヌードルミュージアムといった外出企画を数年ぶりに実施できた。 ・ボランティア向け研修を余暇事業とセットで実施できた。				
	運営上の課題 ・放デイの充実もあり、余暇事業への児童の参加希望者が減少している。 ・職員の入れ替わりも多く、企画運営のノウハウの継続も課題か。 ・目標に記載されている「保護者が地域と繋がるきっかけ」まではなかなか至っていないか。				
区域でシェアしたい取組 学生ボランティアによる地域活動支援として「ほどがやお助け隊」があり、事業実施にあたり声掛けを行うことで、学生が事業へ参加してくれる仕組みがある。			市域で共有・検討したい課題 ケアプラザのコーディネーターが、障害を学ぶ機会を必ず持てるような研修の仕組みを設けられないか。コーディネーター研修の一部を必ず障害分野の内容とする、等。		